

水泳授業民間委託の他市調査結果（概要）

1 基本項目

調査先	桶川市	北本市	春日部市	志木市	加須市
委託学校数	中学校1校	中学校4校	小学校2校	小学校3校	小学校2校
児童生徒数	生徒438名	生徒1,473名	児童434名	児童1,292名	児童215名
R3年度予算額	4,000千円	13,628千円	12,804千円 ※委託額	15,000千円	2,187千円
委託先	（株）埼玉北スイミングスクール	セントラルスポーツ（株） （株）イナホスポーツ	（株）東武スポーツ （株）ルネサンス	コナミスポーツ（株）	※コロナ禍のため 未実施
委託内容	施設利用、バスでの送迎、インストラクターによる指導				

2 水泳授業を民間委託化した背景及び経緯

<ul style="list-style-type: none"> ・プール施設の老朽化による維持管理費や改修費などの経費の増加 ・教職員の水泳授業に関する負担軽減 ・児童生徒の泳力向上

3 水泳授業民間委託化のメリット・デメリット

<p>メリット (成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したプールの維持管理費や改修費が削減できる。 ・複数人のインストラクターによる効果的な指導支援を受けることができる。 ・教員の水泳指導のスキルアップの機会となる。 ・天候に左右されず、夏季以外でも水泳授業を実施することができる。 ・プール実施時の教職員による維持管理が不要になり、負担が軽減できる。
<p>デメリット (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の移動時間や安全確認が必要になる。 ・体育のカリキュラム変更の負担がかかる。 ・自校で水泳授業を実施する学校と、水泳授業を民間委託する学校との間で授業内容に差が生じる可能性がある。 ・消防・災害時の水利用ができない。 ・委託料がかかる。 ・民間事業者の許容量に対して、市内の全校に拡大実施が可能かどうかの判断が難しい。

4 水泳授業において教員とインストラクターの役割について

<ul style="list-style-type: none"> ・教員は基本的にプールサイドから指導・評価を行っている。 ・インストラクターは水中からメインで水泳指導を行い、評価へのアドバイスをしている。

5 水泳授業民間委託後の教職員や保護者、児童生徒からの意見・要望

<p>教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスへの不安や保護者への説明への不安がある。（桶川市） ・水質管理の負担が軽減され、個人的にスイミングスクールに通えない生徒へインストラクターによる指導が出来て良かった。（北本市） ・思考判断表現の評価を行うことができる場面を作ることはできないか。（春日部市） ・教職員の負担軽減、プール清掃・メンテナンスが不要になった。（志木市） ・時間割との調整（通常的时间割の枠内での実施）（加須市） ・送迎バス毎に必ず教員が同乗できるよう乗車定員の確保（加須市） ・見学者の待機及び見学場所の確保と教員の配置（加須市）
<p>保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門の指導者により泳力が身についてきた。（春日部市） ・少人数のグループ活動により、目が行き届いている。（春日部市） ・コロナウイルスへの不安がある。（桶川市） ・特になし（北本市、志木市、加須市）
<p>児童生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度9割以上（北本市） ・特になし（桶川市、春日部市、志木市、加須市）